

第1表

6日滝合小発第150号
令和7年3月3日

日野市教育委員会 様

学 校 名 日野市立滝合小学校
校 長 名 佐 藤 美 徳
(公印省略)

令和7年度教育課程について(届)

このことについて、日野市立学校の管理運営に関する規則に基づき下記のとおりお届けします。

記

1 教 育 目 標

(1) 学校の教育目標

「すべての“いのち”がよろこびあふれる今と未来をつくっていく力」を児童に育むために以下の目標を定める。

「未来を創造する子」：対話力の向上・充実

○自ら考え学ぶ子 : 「課題発見解決力」「表現力・発信力」

◎思いやる心をもち共に生きる子(重点目標)

: 「豊かな感性・創造性」「人間関係形成力」「自己肯定感」

○健康でたくましい子 : 「健康な体・行動力」「社会貢献力」

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

第4次日野市学校教育基本構想の具現化に向け、「地域と共に歩み、安心できる学校づくりプロジェクト」を柱に、以下の基本方針を掲げ、カリキュラム・マネジメントの充実を図る。

ア 「未来を創造する子」：対話力の向上・充実

① 地域と協働し、「地域をステージとした主体的で対話的な深い学び」を目指し、保護者・地域と共に交流、協働することを通して、体験的な学びを充実させる。

② 自信をもって自己表現することを目指し、教育活動全体で対話的で豊かな学びを推進する。

イ 自ら考え学ぶ子(重点目標) : 「課題発見解決力」「表現力・発信力」

① 一律一斉の学びから自分に合った多様な学びと学び方の習得を目指し、実践させる。

② 各教科等において、目標を実現するにふさわしい探求課題の設定および探求過程を充実させる。

ウ 思いやる心をもち共に生きる子：「豊かな感性・創造性」「人間関係形成力」「自己肯定感」

① 学校や地域の中でかかわり合い、集団性を重視した活動の充実を図る。

② 自分たちが生活する地域や社会を知り、未来をよりよくするために自分たちができることを保護者・地域と共に考え、行動する力を育む活動を推進する。

エ 健康でたくましい子 : 「健康な体・行動力」「社会貢献力」

① 運動の楽しさや体を動かす心地よさを味わう取組を充実させ、生涯スポーツの態度を養うとともに、健康で安全な生活を送るための資質・能力を育む授業づくりを行う。

② 児童が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるため、家庭・地域と連携した食育を推進する。

2 指導の重点

(1) 各教科、特別の教科 道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動

ア 各教科

- ・教科の特質に応じた主体的・対話的で深い学びの実現に向け、指導と評価の一体化、学習評価の「妥当性」や「信頼性」を高める授業改善を推進する。
- ・児童の思考力・判断力・表現力等の育成をより一層重視した授業を展開する。
- ・各教科で一人1台学習者用端末を効果的に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る。
- ・社会科では、学習したことを生かして考え、主体的に問題解決する力を身に付けさせるために第4学年「可燃ごみ処理施設見学」、第5学年「ものづくり教室」を行う。
- ・算数科は指導方法工夫改善による習熟度別指導を行い、確かな学力を身に付けさせる。また、放課後補習教室「たきあい塾」との連携を図り、基礎基本の定着を促進させる。
- ・体育科の授業改善を通して、運動の楽しさや体を動かす心地よさを味わわせ、心身の健康の保持増進を図る。また、「ロング昼休み」、「縦割り班活動」による日常的な運動や遊びを通した運動の機会の充実、体力調査の結果を基に運動の習慣を定着させる「パワーアップタイム」、地域人材等を活用した第3学年「タグラグビー教室」、第5学年「空手道体験教室」を行い、体力・運動能力の向上を図る。
- ・がんについて正しく理解し、健康と命の大切さを考えるがん教育の充実を図る（第6学年）。

イ 特別の教科 道徳

- ・「考える道徳」、「議論する道徳」となるよう授業改善を行い、集団性やかかわり合いを重視した活動や、問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習を通して、自己を見つめさせ、物事を多面的・多角的に考えさせる。
- ・道徳授業地区公開講座による、学校・家庭・地域が連携した道徳教育の推進を図る。

ウ 外国語活動

- ・ALTと連携し、児童が自らコミュニケーションを図ろうとする態度を養う授業づくりを行う。
- ・言語や文化について体験的に理解を深め、国際的視野を広げることで異文化理解を図り、豊かな国際感覚を醸成する。

エ 総合的な学習の時間

- ・地域を学びのステージとして、新たな問題の発見・解決に導くための探究的な見方、考え方を働かせ、児童の主体的・対話的で深い学びの実現を図る。
- ・学校・保護者・地域が協働して児童に地域や社会への関心をもたせ、自分の住む地域や社会をよくするために何ができるかを考える活動を通して、教育活動を展開する。
- ・SDGsカレンダーを活用した教科横断的な学習を通して、児童の想像力を育む。

オ 特別活動

- ・学級活動を充実させ、児童が互いの存在を認め合えるような支持的な学級風土を醸成し、一人一人に集団の一員としての自信をもたせる。
- ・縦割り班活動、委員会活動やクラブ活動等を通して、異年齢での対話や多様な関わり合いを経験させることで、互いの良さを認め合い、高め合う豊かな人間関係の育成を図り、児童一人一人の居場所や出番がある学校を目指す。
- ・学校行事等を通して、うれしいと感動のある学校生活を体験させ、集団への所属感や連帯感、自己有用感を培うとともに、自発的・自治的な態度の育成を図る。
- ・全学年、毎学期1時間、特別支援教室巡回指導担当教員と担任による「ソーシャルスキルトレーニング」を取り入れた学級活動を行い、よりよい人間関係の形成力を高める。
- ・「キャリア・パスポート」を活用して各教科等と往還し、自らの学習や生活状況等を振り返り、自身の変容や成長を自己評価し、自己のキャリア形成に生かす。

(2) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

- ・家庭状況の的確な把握のために、個人面談や地域巡りを実施する。
- ・生活指導部、校内支援委員会、スクールカウンセラー等の校内体制を生かし、常時から組織的に情報共有し、不登校対策、居場所づくりを工夫する。
- ・エール、子ども家庭支援センター、児童相談所、SSW、わかば教室等の関係機関と連携し、個別の配慮等を推進して、児童一人一人のいのちを守り輝かせるための取組を充実させる。
- ・いじめ防止対策推進法に則り、学校いじめ防止基本方針を基に、ふれあい月間（6月、11月、2月）において学校生活アンケートといじめ防止に関する学習を年3回ずつ実施する。学校いじめ防止対策委員会を中核に、組織的に対応ができるよう、児童の表情や言動に対して気になる点を日常から学年等で共有して具体的な早期対応を実践する。
- ・年度当初に教職員研修を行い、いじめ防止基本方針を理解した上で、4月の保護者会で保護者の啓発をするとともに地域へ情報発信をする。また、重大事態の対処を含む教員研修を年3回実施し、教員の資質向上を図る。
- ・年11回の避難訓練の実施と毎月の安全指導と日常の安全指導の充実及び「セーフティ教室」、「薬物乱用防止教室」、「災害体験者から学ぶ教室」について外部講師を招いて実施し、児童に危険を予測し回避する能力や他者や社会の安全に貢献できる能力を向上させる。
- ・「安全教育プログラム」を活用して、生活安全・交通安全・災害安全の取組を充実させるために、学校危機管理マニュアルを基に保護者・地域（防災会、自治会、スクールガードボランティア等）と連携した組織的な危機管理体制を構築する。
- ・発達段階に応じた「生命（いのち）の安全教育」を実施し、保護者・地域へ情報発信する。

イ 進路指導

- ・全教育活動において、児童一人一人が社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育を推進する。
- ・2つの中学校区における地域連携を推進し、自分たちの住む地域や人との大切さに気付かせる中で、未来を見つめる持続可能な社会のつくり手として児童を育成する。

(3) 特色ある教育活動

- ・コミュニティ・スクールとして地域と共に歩み、安心できる学校づくりのために、滝合地区や日野の歴史や地域を知る郷土教育を推進し、地域人材や地域環境を活用した体験学習を行い、「地域をステージとした学び」を充実させる。
- ・学校環境や地域環境を生かし、校地内の田畑での農業体験、芝生を生かした遊びや活動、ピオトープ・浅川を活用した活動を展開し、教科横断的、探究的な学びを行い、自分たちの住む地域や社会をよりよくするために何をすべきかを考える学習活動を推進する。
- ・「芝生活用イベント」を芝生管理委員会、PTA、地域、育成会等と共催し、「地域の文化的拠点及び防災的拠点としての学校」として学校を外部に大きく開き、地域社会からの注目度を上げ、地域のあらゆる年代の人と人がつながることにより学校や地域全体の安全・安心を高めていく。
- ・「GIGA ワークブックとうきょう」を活用して、情報モラル教育を推進する。
- ・学校2020レガシーの取組として、全校児童が「パワーアップタイム」で基礎体力向上を図る。第4学年は総合的な学習の時間で福祉教育を行う。
- ・学校図書館ガイドラインを踏まえ、学校図書館の読書センター・学習センター・情報センターとしての機能を充実させる。また、司書教諭を中心に年間図書館活用計画、学習指導計画を基に学校図書館司書と連携をして、読書活動の充実、各教科等の探究活動の推進を図り、児童の情報探索や資料活用能力を高め、自分の考えをまとめて発表する学習活動を推進する。

第 3 表

学校名 小 10 日野市立 滝合 小学校

3 学年別授業日数及び授業時数の配当

(1) 年間授業日数配当表

月 学年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
1	1 6	2 1	2 0	1 4	5	1 9	2 2	2 0	1 8	1 7	1 8	1 5	2 0 5
2	1 6	2 1	2 0	1 4	5	1 9	2 2	2 0	1 8	1 7	1 8	1 5	2 0 5
3	1 6	2 1	2 0	1 4	5	1 9	2 2	2 0	1 8	1 7	1 8	1 5	2 0 5
4	1 6	2 1	2 0	1 4	5	1 9	2 2	2 0	1 8	1 7	1 8	1 5	2 0 5
5	1 6	2 1	2 0	1 4	5	1 9	2 2	2 0	1 8	1 7	1 8	1 6	2 0 6
6	1 6	2 1	2 0	1 4	5	1 9	2 2	2 0	1 8	1 7	1 8	1 5	2 0 5
備 考	①第1学年～第4学年は卒業式、第6学年は修了式に出席しないため1日少ない。 ②振替休業日なしの土曜日授業の日数は0日。												

(2) 各教科、特別の教科 道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動の年間授業時数配当表

領域		学年	1	2	3	4	5	6
各教科	国語	306	315	245	245	175	175	
	社会			70	90	100	105	
	算数	136	175	175	175	175	175	
	理科			90	105	105	105	
	生活	102	105					
	音楽	68	70	60	60	50	50	
	図画工作	68	70	60	60	50	50	
	家庭					60	55	
	体育	102	105	105	105	90	90	
	外国語					70	70	
	小計	782	840	805	840	875	875	
特別の教科 道徳		34	35	35	35	35	35	
外国語活動		(0)	(0)	35	35			
総合的な学習の時間				70	70	70	70	
特別活動	学級活動	34	35	35	35	35	35	
	クラブ活動				(13)	(13)	(13)	
	委員会活動					(11)	(11)	
総計		850	910	980	1015	1015	1015	
備考	①この表の授業時数の1単位時間は、45分とする。 ②スタートカリキュラムの実実施時数は20時間とする。 ③クラブ活動と委員会活動は、1単位時間を50分とし、クラブ活動は14回、委員会活動は12回実施する。 ④クラブ活動と委員会活動は、実際に実施する回数はクラブ活動13回、委員会活動11回とする。 ⑤総合的な学習の時間の名称を「かがやきタイム」とする。							

第4表の1

学校名 小10 日野市立 滝合 小学校

4 学 校 行 事

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
日	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事
1	火		木	体力テスト	日	開校記念日	火	セーフティ教室(1, 2)	金		月	水泳指導始
2	水		金	避難訓練 家庭訪問終	月		水		土		火	
3	木		土	憲法記念日	火	安全指導	木	セーフティ教室(3, 4)	日		水	
4	金		日	みどりの日	水		金		月		木	
5	土	春季休業日終	月	こどもの日	木	社会科見学(4)	土		火		金	避難訓練
6	日		火	振替休日	金		日		水		土	
7	月	始業式(2~6) 入学式(1)	水	安全指導	土		月		木		日	
8	火		木		日		火	セーフティ教室(5, 6)	金		月	
9	水	給食始(2~6) 定期健康診断始	金		月		水	避難訓練	土		火	安全指導
10	木	安全指導	土		火		木		日		水	
11	金	市学調(5)	日		水	ハケ岳移動教室始(5) 定期健康診断終	金		月	山の日	木	
12	土		月		木	ハケ岳移動教室終(5)	土		火	閉庁日始	金	
13	日		火		金	自転車安全教室(3)	日		水		土	
14	月	給食始(1) 避難訓練	水		土		月		木		日	
15	火	交通安全教室(1) 家庭訪問始	木		日		火	安全指導	金		月	敬老の日
16	水		金		月		水		土		火	
17	木	国学調(6)	土		火	避難訓練	木	給食終	日		水	
18	金		日		水		金	終業式	月	閉庁日終	木	
19	土		月		木	日光移動教室始(6)	土		火		金	
20	日		火		金		日		水		土	
21	月		水		土	日光移動教室終(6)	月	海の日 夏季休業日始	木		日	
22	火		木		日		火	夏季学習会始	金		月	
23	水		金		月	振替休業日	水	個人面談始	土		火	秋分の日
24	木		土	運動会	火		木	夏季学習会終	日	夏季休業日終	水	
25	金	学校公開日始	日		水		金		月	始業式	木	遠足(1)
26	土	学校公開日終	月	振替休業日	木		土		火		金	
27	日		火		金		日		水		土	
28	月	振替休業日	水		土		月		木	給食始	日	
29	火	昭和の日	木		日		火		金		月	
30	水		金		月		水		土		火	
31			土				木	個人面談終	日			

第4表の2

学校名 小10 日野市立 滝合 小学校

月	10月		11月		12月		1月		2月		3月		
日	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	
1	水		土	東京都教育の日	月	避難訓練	木	元日	日		日		
2	木	遠足(2)	日		火	薬物乱用防止教室(6)	金		月		月		
3	金		月	文化の日	水		土		火	避難訓練	火		
4	土		火		木		日		水		水		
5	日		水		金		月		木	安全指導	木	災害体験者から学ぶ教室(6)	
6	月		木	生活科見学(1, 2)	土		火		金		金	避難訓練	
7	火		金		日		水	冬季休業日終	土		土		
8	水	安全指導	土		月		木	始業式	日		日		
9	木		日		火	安全指導	金		月		月		
10	金	SOSの出し方に関する教育(5)	月		水		土		火		火	安全指導	
11	土		火	安全指導	木		日		水	建国記念の日	水		
12	日		水		金		月	成人の日	木		木		
13	月	スポーツの日	木		土		火	給食始 安全指導	金		金		
14	火	遠足(3)	金	音楽会始	日		水		土		土		
15	水		土	音楽会終	月		木	避難訓練	日		日		
16	木		日		火	社会科見学(5)	金		月	水泳指導終	月		
17	金		月	振替休業日	水		土	学校公開日 道徳授業地区公開講座	火		火		
18	土	学校公開日 避難訓練	火	避難訓練	木		日		水		水		
19	日		水		金		月	振替休業日	木		木	給食終	
20	月	振替休業日	木	社会科見学(4)	土		火		金		金	春分の日	
21	火	遠足(4)	金		日		水		土		土		
22	水		土		月		木		日		日		
23	木		日	勤労感謝の日	火		金		月	天皇誕生日	月	離任式	
24	金		月	振替休日	水	給食終	土		火		火	卒業式(5, 6)	
25	土		火	社会科見学(3)	木	終業式	日		水		水	修了式(1～5)	
26	日		水		金	冬季休業日始	月		木		木	春季休業日始	
27	月		木	小学校連合音楽会(6)	土		火		金		金		
28	火		金	小学校連合音楽会(6)	日		水		土		土		
29	水		土		月		木					日	
30	木	社会科見学(6)	日		火		金					月	
31	金				水		土					火	